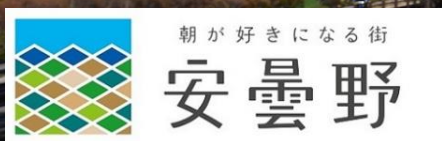


安曇野ふるさと寄附金 活用事業報告

安曇野ふるさと寄附金を活用して
令和元年度に実施した事業の概要をお知らせします。
多くの皆さまからの温かいご寄附に感謝申し上げます。



(世界かんがい施設遺産の拾ヶ堰)

令和元年度は、安曇野ふるさと寄附金として **3,149 件 983,077,000 円**のご寄附をいただき感謝申し上げます。寄附者の皆さまのご意向に沿って大切に活用させていただきます。



募集テーマ別	件数	寄附金額
1 豊かな人を育むまちづくり	506 件	82,515,000 円
2 防災力・減災力の強化に向けたまちづくり	293 件	73,555,000 円
3 出産・子育て環境が充実したまちづくり	768 件	274,110,000 円
4 活気に満ちた産業があるまちづくり	388 件	159,160,000 円
5 健康長寿のまちづくり	334 件	118,987,000 円
6 市長が選定した施策に活用	811 件	272,695,000 円
(その他) ガバメントクラウドファンディング (GCF)	49 件	2,055,000 円
合計	3,149 件	983,077,000 円

たくさんの応援メッセージありがとうございます！ほんの一部ですがご紹介します。

★ハーフマラソンまた登山の拠点としていつもお世話になっています。 ★風景良くお蕎麦もおいしい街です。今後も田園風景を残してくださいね。 ★ふるさと納税ではじめて安曇野市を知りました。ネットで調べてみると、魅力的な観光スポットが多数あるとのことで、今度旅行に行ってみようと思いました。 ★出張で訪れた際、360度の山並みに圧倒されました。 ★日本製の高品質な工業製品のひとつの拠点として今後も頑張ってください。 ★水、空気、食事、自然環境、どれをとっても日本の宝です。 ★雄大な大自然と暖かな人里の風景に癒されます。 ★安曇野に行く度に澄んだ空気と美しい山並みやどこまでも広がる大空を心の底からうらやましく思います。その自然をいつまでも大切にしてください。 ★常念を眺めながら美味しいおそばを食す。こんな贅沢ができる安曇野は素晴らしい！ ★NHKの朝ドラ、おひさまの舞台の町で、いつかは行きたいと思っています。



あぶふーる

令和元年度活用事業のご紹介



令和元年度に安曇野ふるさと寄附金を活用した事業を紹介します。
安曇野市では、6つのテーマから寄附者が希望されたテーマに沿って、各種事業に寄附金を活用しています。また、平成27年に「安曇野市ふるさと寄附基金条例」を制定し、寄附金の一部は基金に積み立てたうえで、募集テーマに沿った事業に活用しています。

子どもたちの学び・生活の場にエアコンを設置

豊かな人を
育む



エアコンを設置した小学校の教室

快適な学習環境を整え、生徒が意欲を持って学べる条件整備と、近年の平均気温の上昇による夏季の熱中症予防など生徒の健康面への配慮のため、小学校の213教室にエアコンを設置し、また、中学校の135教室にもエアコン設置に着手しました。また、市内認定こども園と幼稚園の遊戯室にも寄附金を活用してエアコンを設置しました。遊戯室を猛暑時における避難場所として活用できるようになり、園児の健康と安全を保持することができるようになりました。

小・中学校に外国語指導講師(ALT)の配置

児童・生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の基礎を養うため、市内小・中学校に外国語指導講師を配置しました。小学校では、児童が外国語に触れる機会が増え、より楽しみながら学べ、児童の積極性を引き出せる取り組みとなっています。また、中学校では、ネイティブな英語に触れる機会を設けることにより、生徒の英会話力を育成しています。



楽しみながらの英語学習（小学校）

災害発生時に備えるため、防災用品の購入補助や備蓄品の購入

防災力・減災力



市民が購入した防災用品の一例

災害が発生したときに市民の命を守るためには、自助・共助・公助の機能が十分に発揮できる体制づくりが大切です。災害への備えの拡充を図るため、市民の防災用品の購入に対して補助金を交付しました。また、第3次長野県地震被害想定調査報告書を参考に定めた備蓄計画に基づき、市の備蓄品として、食料・飲料水・日用品、資機材等を購入しました。

不妊・不育症治療費の一部を助成

出産・子育て

不妊治療を行っている夫婦の経済的な負担軽減を目的に実施している事業に寄附金を活用しました。不妊・不育症治療は経済的負担が大きいため、治療費の一部を助成しました。助成事業による支援は大変助かるとの声をいただき、助成事業申請者のうち約30%の方が妊娠届を提出されました。少子化対策として成果を期待している事業です。

令和元年度 安曇野市不妊・不育症治療費助成事業

～不妊・不育症治療をされているご夫婦へ～

安曇野市では不妊・不育症治療を行っているご夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要した医療費の一部を助成しています。

- 1 助成内容
 - ◆ 令和元年度中に不妊・不育症治療に要した医療費のうち自己負担額の2/3の金額で、30万円を限度に助成します。
 - ◆ 助成金の交付申請は1年度内の1治療期間が対象となります。一年度分をまとめて提出してください。
 - ◆ 通算して5回まで助成が受けられます。

事業案内チラシ（一部抜粋）

農業振興・農地保全

活かに満ちた
産業

安曇野を創る農業の振興を図るため、安曇野市の地味・気候などに適した「玉ねぎ・ジュース用トマト・黒大豆」の産地化を目指しています。令和元年産玉ねぎの作付面積は52haとなり、3年前と比べると1.5倍にも増加し、甘くておいしい「安曇野産玉ねぎ」として評判を得ています。今後もさらなる産地化を目指すとともに、安曇野の豊かな農地の保全にも努めていきます。



収穫を迎えた玉ねぎ畑

健康づくり活動を行う高齢者の自主活動を支援

健康長寿



補助金を交付した団体の活動紹介冊子

健康増進や介護予防のために定期的に健康づくりの活動を行う高齢者の自主活動団体への補助金を交付しました。補助金をきっかけに活動を始める団体もあるなど好評で、令和元年度は79団体（前年より7団体増）に補助を行いました。今後も事業を継続し、高齢者の生きがいと健康づくりにつなげていきます。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

市長が選定

オーストリアカヌーチームのホストタウンとして機運の醸成を図るため、パラリンピアンによる講演、VRカヌー体験、小学生向けのカヌー体験教室の開催、オーストリアに縁のあるアーティストの招へいなどを実施しました。残念ながら、当競技大会は2021年開催へと延期になりましたが、多文化共生社会への理解を深めるためにも、引き続きホストタウン推進事業を継続していきます。



小学生向けに開催したカヌー体験教室

自転車を活用したまちづくりの推進



サイクリングロードサインガイドライン

安曇野市の重点施策である「自転車を活用したまちづくり」を実現するため、市内でサイクリングを楽しむ人々が安全かつ快適に走行できるよう、サイクリスト及び自動車ドライバーに向けた「サイクリングロードサインガイドライン」を策定しています。このガイドラインに基づき、サイクリングコースの整備を行います。

移住定住の促進

地域活力の維持や人口減少・少子高齢化の抑制などを目的に、移住セミナーや現地体験会を開催したほか、おためし住宅の運営などを行い、移住定住の促進に取り組みました。移住セミナーや現地体験会に参加された移住希望者からは、「気候や現地の雰囲気などを体感でき、安曇野市がより身近になった」といった感想をいただき、高い評価を得ることができました。



東京都で開催した移住セミナー

他にもこんな事業に活用しました

健康長寿

市内入浴施設の入浴割引券を交付
外出支援事業の一環として、70歳以上の方や一定の障がいがある方へ、市内の入浴施設約20カ所で利用できる入浴割引券を交付しました。

活かに満ちた産業

仕事の創出、市内の商工業や企業等への支援
若者や女性が起業しやすい環境を整えるとともに、新規起業等に対する支援の他、フルタイムでの就労が困難な人に就労環境を提供するため、テレワークセンターを開所しました。また、工場用地取得、工場等設置、生産設備取得、空き工場等の賃借料一部補助のほか、中小企業の設備投資を支援しました。

出産・子育て

子育て世代の経済的負担の軽減

第2子以降の子どもを教育・保育施設を利用せずに家庭で保育している養育者に対して、子ども一人あたり月額3,000円の手当を支給し、子育て世代への経済的負担の軽減を図りました。

市長が選定

緑豊かなまちづくりの推進

「第36回全国都市緑化信州フェア」の主催者負担金として活用しました。市のサテライト会場には約7万人の方々にご来場いただき、フェアによって市民の花と緑に対する意識が大きく高まりました。

ガバメントクラウドファンディング(GCF)を実施しました



「来ましょ住ましょ安曇野に～移住交流促進プロジェクト～第1弾 みんなで創ろう！信州安曇野交流ベース」と題して、信州安曇野ハーフマラソンの拠点となる市総合体育館建設費用の一部について、GCFにより計**2,055,000円**のご寄附をいただきました。

(募集期間：R1.11.1～R2.1.31)

この資金を活用し、市総合体育館がより市内外の交流拠点となるよう、建設を進めていきます。ありがとうございました！



市総合体育館の外観イメージ図

ガバメントクラウドファンディング(GCF)とは、自治体が抱える問題・課題解決のため、寄附金の使い道(プロジェクト)をより具体的に示し、そのプロジェクトに共感した方からインターネットを通じてふるさと納税を募る方法です。

今後とも安曇野市へのご支援をよろしく申し上げます。



(お問い合わせ先)

安曇野市役所 総務部 総務課 行政管理係

〒399-8281 長野県安曇野市豊科 6000 番地

TEL 0263-71-2408(直通) FAX 0263-71-5155

E-mail furusato@city.azumino.nagano.jp